

佐賀県／白石町

おも しろいし

SHIROISHI
CONTENTS GUIDE

しろいし町
みちくさガイド



SHIROISHI CONTENTS MAP



しろいしの食

SHIROISHI GOURMET

おもいし

白石は食の宝庫です。

白石町は、山も平野も海もあり、豊かな食の宝庫です。
農産物は、温暖な気候と肥沃な大地、また干拓地の肥えた農地で、カルシウムやミネラル分をたっぷりと含んだ重粘土質の土壌という白石独特の条件のもと育っています。様々な加工品もあり、代表的なものとして「しろいしてんぺ」という無塩醗酵大豆食品があります。ハンバーグやかきんとうなど、いろいろな種類の加工品になっています。また、有明海は干満の差が激しく、ここで獲れた魚貝類は“まえうみもん”と呼ばれ、この地域独特のものです。
食文化では、須古寿しに代表される郷土料理があり、一風変わったところでは、「餅すすり」というこの地域独自の風習があります。



あたまはタマネギ さすが白石タマネギ！ どんな料理にもピタッコ！

タマネギは、白石町を代表する作物ですが、栽培が始まったのは60数年前と、比較的歴史は浅いものです。佐賀県のタマネギ作付面積は北海道に次ぐ全国2位で、7割が白石町となっています。タマネギかりんとうなどの加工品もあります。



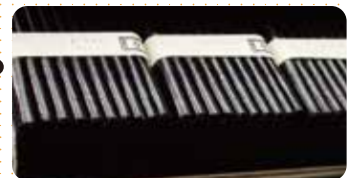
体はイチゴ

おいしさバッチリ！
「いちごさん」は、2018年秋にデビューした新しいいちご。佐賀県では「さがほのか」以来、20年ぶりの新ブランドです。佐賀県・JAグループ佐賀・いちご生産者が一体となり、7年もの開発期間を経て、15,000株もの中から選び抜かれた自信作です。



レンコンのポシェット

のぞ
覗いてみませんか…あなたの未来が見えるかも！
レンコンは、大正11年から栽培が始められました。重粘土質の独特の土壌で全国屈指の高品質のレンコンが栽培されています。県内レンコン生産の約8割を白石町が占めており、夏に採れるレンコンはシャキシャキ感がありサラダなどにピッタリです。冬場に採れるレンコンはホクホク感があり、お煮しめ、天ぷら、おでんなどに最高です。「見通しがきく」と縁起のいい食べ物です。レンコンかりんとう、チップス、アイスなどの加工品があります。



有明海苔の髪ざり 日本一の海苔です！

白石町の有明海は干満の差が6メートルにも及ぶことを利用し、海苔の養殖が盛んです。干潮にあると日光と潮風を浴び光合成を繰り返して日本一のおいしい海苔が育ちます。



お米の髪ざり 米どころ、白石平野！ いろんな品種が勢ぞろい！

白石平野で様々な種類のお米が作られています。中でも「七塔こしひかり」は、白石町のみで栽培される極早生栽培のこしひかりです。県内で一番早く旧暦の七夕である8月7日ごろ収穫されます。お盆前に食べられ、人気です。粘り強く甘みがあります。

VEGETABLE

ミネラルたっぷり 肥沃な大地で育つ農産物



スイートコーン 朝獲りコーンは最高

数年前から福富地域で栽培され始めました。粘土質の土壌で育てられるスイートコーンはとても甘く、人気が高まっています。



小ねぎ 料理の名わき役

緑が濃くてとても甘みがあります。ハウス栽培で一年中出荷されます。



アスパラガス シャキシャキしています

温暖な気候を利用して生産されるアスパラガスは、出荷量は全国トップクラスです。昔は薬として利用されていたほど、栄養価が高く、アスパラギン酸というアミノ酸が新陳代謝を高め、疲労回復や免疫力アップに効果的です。



他にも、キャベツ、きゅうり、みかん、璃の香など、多くの種類の作物が採れます。

BEEF



ほっぺが落ちそう 「しろいし牛」

ジューシーで柔らかい
白石のきれいな水と白石産のワラなど、気を使った餌、愛情いっぱい育てられたしろいし牛は、肉質はジューシーで柔らかく、脂身は少なくて旨みがある理想的な牛肉です。

SEAFOOD

豊穡の海で育つ「まえうみもん」

【有明海の海産物は「まえうみもん」と呼ばれます】



むつごろう

有明海の人気者

有明海の人気者むつごろうは、かば焼きが大変珍味です。夏バテ防止にもよいといわれています。



はぜ 隠れた人気者

はぜは、秋から冬にかけて、有明海で捕れる魚で、大根などと一緒に煮て食べるととても美味です。



わらすぼ

見た目は怖いエイリアン？
でもとても美味

怖い顔をしたハゼ科の魚です。干して乾燥させたものがあり、あぶって食べるととても美味です。煮付けにしたり、みそ汁などに入れて食べてもおいしいです。

がん漬け

2種類の
がん漬けを
食べ比べ

がん漬けは、小さな蟹を丸ごとつぶし、唐辛子、醤油、塩で調味した塩辛です。江戸時代から食べられている珍味です。かなり塩辛いですが、独特の香りとピリッとした辛味がくせになります。がん漬けは、2種類あり、ひとつは真蟹(シオマネキ)を使用したもので、やわらかい食感です。もうひとつは、ヤマトオサガ二等地元ではカタシロと呼ばれる蟹を使用したもので、カリカリ感が楽しめます。

くちぞこ

これぞ、
有明海の味

くちぞこは、靴の底に似ていることから、「くつぞこ」と呼ばれ、次第に訛り、「クチゾコ」と呼ばれています。舌平目なので、いろんな料理法がありますが、白石町では煮付けが定番です。

他にも、セッカ(カキ)、グチ、たこなどの魚介類が捕れます。



白石の食文化

郷土料理

須古寿し

須古寿しは、祭や祝事の際に食べられる郷土料理です。今から500年以上前、農民を大切にす須古の領主に、領民が感謝の気持ちを込めて献上したのが始まりとされています。「もろぶた」と呼ばれる長方形の木箱にすし飯を敷き詰める「はこ寿司」です。地元では、須古寿しを作る時、「須古寿しを“つける”」と言い、手で軽く押さえてやさしく作る様子を表しています。有明海産のむつごろう、奈良漬、ごぼう、しいたけなど、素材の味を大事にした具材をトッピングします。



煮じゃあ

収穫を喜び気持ちが込められた季節の食材いっぱいの郷土料理です。おくんちの時に食べられます。れんこん、人参、ごぼう、鶏肉などがバランスよく入った逸品です。



まえうみもん

有明海で獲れる魚介類は、「まえうみもん」といい、はぜ、くちぞこ、しゃばなどは甘辛く醤油味で煮て食べます。



しろいしてんぺ

しろいしてんぺは、煮大豆に、インドネシア原産の“てんべ菌”を混ぜて発酵させた食べ物です。ビタミンやアミノ酸に富み、鉄分、カルシウムも多く含み、美容と健康にいい大豆イソフラボンも豊富です。てんべ入り味噌、かりんとう、ハンバーグ、餃子など様々な加工品があります。



多いお寿司屋さん

白石町には、意外にお寿司屋さんが多くあります。地元旬の素材を利用した創制的なお寿司屋さんもあります。



餅すすり

餅すすりは、つきたての餅を湯にひたして、一気にかまぐらに飲み込む、白石でしかみられない独特の食べ方です。言い伝えによると、約400年前、九州北部に勢力を築いていた龍造寺隆信が島原遠征の際に龍王崎に兵を集めていました。その時、領民が餅をついて歓待したものの、有明海が引き潮のため、急いで船に乗らねばならず、武士たちは、つきたての餅を湯につけて食べて行ったといわれています。現在、餅すすり保存会により継承されています。
※危険ですから絶対に真似はしないでください。



白石お土産どころ

① しろいし特産物直売所

地元農産物をはじめ、白石町の特産品「しろいしてんぺ」の商品が並びます。
営業時間 9:00～17:00
定休日:12月31日～1月3日
TEL 0952-84-7050



② 道の駅しろいし

レンコン時期は多くの買い物客でにぎわいます。スイートコーンやいちごさんなど白石平野の恵みが満載です。
営業時間 9:00～18:00(3月～10月)
9:00～17:00(11月～2月)
※変更の場合あり 11:00～15:30(レストラン)
※オーダーストップ15:00
10:00～16:00(軽食・喫茶)
定休日:毎月第3水曜日 / 12月31日～1月3日
TEL 0952-87-2116



③ 菜海ありあけ

海の幸、平野の幸が並びます。生や干したワラスボ、焼いたムツゴロウもあります。
営業時間 9:00～17:00
定休日:1月1日～1月5日
TEL 0954-65-5089



干拓の歴史遺産

SHIROISHI
HISTORICAL LEGACY



干拓のロマンに触れる。

豊かな実りを育む白石平野は、太古の昔から自然干拓と人工干拓によって造られてきました。本格的に干拓が進みだしたのは、江戸時代に入ってからです。その当時造られた土居（でい）跡が干拓を物語る遺産として町内に残っています。最も高い堤防跡が旧有明海岸堤防跡（2線堤）の一部にあり、その様子は、万里の長城のようでもあります。人の暮らし、産業を支えてきた干拓の土居跡を、波の音が聞こえていた当時の様子を思い浮かべながらゆっくり巡ってみてください。

干拓の土居跡散策MAP



① 五千間土居跡

五千間土居は、江戸時代初期に造られた干拓堤防で、福富地域住ノ江から有明地域戸ヶ里の水門まで約9km(五千間)におよぶ雄大な堤防でした。通称、松土居とも呼ばれ、その名のとおり、土居上には、松並木が散在していました。一部は、現在国道444号となっています。



A 豊前坊さん

五千間土居で唯一残る堤防跡です。現在、小高い丘のように残っており、当時の面影を今に伝えています。五千間土居跡は、江戸時代初期、土木治水の神様といわれた佐賀藩の成富兵庫茂安によって造られた干拓堤防の跡です。地元では、通称、豊前坊さんと呼ばれ、谷神社となっています。



C 潮塞観音

潮塞観音は、国道444号沿いにあります。大正3年に台風で海水が土手を越えて流れ込んだときに、流れてきた観音堂が土手の切れ目を塞ぎ被害の拡大を防ぎました。その後「潮塞」観音と名づけられ、今も地元の人に愛され、手厚く祀られています。



② 六千間土居跡

六千間土居は、江戸時代中期(1781～)、佐賀藩が直営工事として築造し、ハゼの木が植えられた約12km(六千間)の堤防でした。現在、堤防上は舗装され、大部分が国道444号となっています。



B 拓魂碑

干拓地への入植30周年を記念し昭和59年(1984)に設置された記念碑です。昭和29年(1954)に第1回の入植が行われ、様々な災害を乗り越え、現在の実り豊かな大地を作り上げたことが碑文に刻まれています。フロントピアに挑んだ人々の「干拓魂」が感じられる場所です。



D 龍神社

龍神社は、1785年、度重なる台風の襲来に堤防の安全と五穀豊穡を祈り、豊玉姫を奉って建てられた神社です。豊玉姫之尊の祠(町重要文化財)には、佐賀藩鍋島家の杏葉紋が刻まれています。



③ 旧有明海岸堤防跡

現在は、堤防跡は道路として使用されています。



④ 旧有明海岸堤防跡(2線堤)

干拓技術が革新期を迎えた年代に築造され、戦後完成しました。



⑤ 有明海岸堤防(1線堤)

【現在の堤防】
現在、有明海と接する第1線堤防です。

白石平野干拓の歴史遺産の楽しみ方



国道444号が干拓堤防跡？

国道444号。よく見ると周りの農地よりも高くなっています。ここが佐賀藩が江戸時代前期から中期にかけて築造した堤防でした。近世の堤防の上を車で通っていたんですね。割と曲がった箇所が多いのは、堤防の名残だったんですね。



地名に残る干拓の名残

地名に、干拓の名残をみることができます。昔は干拓のことを「揚田(あげた)」、「籠(こもり)」、「塙(からみ)」といった。今も「遠江塙」など、地元の地名となっています。

白石平野の万里の長城

時代ごとに造られた堤防跡が見られます。たいへん規模が大きい堤防跡もあり、まるで万里の長城を思わせるものです。



干拓事業に関連する歴史文化

干拓事業や災害の歴史の中で、関連する神社などの歴史資源があります。散策の途中で、お立ち寄りください。また、壊れた堤防を補修した跡等を見ることが出来ます。



白石平野の眺め

ふくどみマイランド公園内には、展望台があります。そこから、干拓の様子を眺めることができます。



街中の歴史文化

SHIROISHI
HISTORY



おもしろい
SHIROISHI
CONTENTS GUIDE

白石は伝説もおもしろい。

白石町の街中には、昔からの伝説や様々な史実があります。まず、白石町の街中にいろいろな生き物が登場します。ネコは、7本尻尾の少し怖い様子が彫られています。でもとってもご主人思いです。カニは、蟹築籠という地名になっている場所にカニの姿が彫られています。また、歴史上有名な人物が登場します。判事だった山口良忠は、戦後まもないころ、自らの信念を貫き、法律で禁じられたヤミ米を拒絶して、栄養失調で亡くなりました。佐賀藩主鍋島勝茂は、タカ狩りに当時湿地帯だったこの地をよく訪れていました。そして、白石町の中央部には、南北方向に長崎街道が通っています。山口（江北町）から鹿島城下を結ぶルートで、白石町内には、「六角宿」、「高町宿」の2つの宿場町がありました。興味がある場所に出向き、街中プチ探索をお楽しみください。

蟹築籠碑

秀林寺の猫塚

街中歴史文化散策MAP



1 長崎街道浜道

江戸時代、長崎と小倉の間には、幹線道路として長崎街道が通り、いくつかのルートがありました。白石町を通る長崎街道は、浜道とも呼ばれ、山口（江北町）と浜野（鹿島市）を結ぶ往還道でした。白石町内には、「六角宿」と「高町宿」の2つの宿場がありました。

2 室島

その昔、海岸線であったことから岩が浸食され、そこに石穴地蔵など石造物が造立されています。

3 放生池跡

清水が絶えることなく湧き出て、かつて長崎街道を往來する人々の憩いの場でした。

街中に登場する伝説の生き物たち

////////// LEGENDARY CREATURES //////////

4 猫塚(秀林寺)

秀林寺に「猫大明神」の祠があります。これは白石化け猫騒動に関係して、猫の供養の意味合いのものです。たいへん主人思いの忠義をつくしたネコだったので。忠犬ハチ公ならぬ、忠猫コマといったところでしょうか。物語は以下のとおりです。今から四百年あまり昔のことです。ある夜、佐賀藩主鍋島勝茂と又一郎なる者が暮をうっている最中、又一郎の様子がおかしくなったため、恐ろしくなった勝茂は又一郎を斬り殺してしまいました。又一郎が殺されたことを聞いた母親は、飼猫のコマに「どうか息子の仇をとってくれ」と言って自殺してしまいました。その死体から流れた血をなめた飼猫はどこへ姿を消しました。その事件のあと、勝茂は毎晩うなされるようになりまし。勝茂の妾(側室)お豊の方の様子がおかしいのに気づいた千布本右衛門は、こっそりお豊の方の見張りをするため庭に隠れて待っていました。お豊の方が廊下を歩いてくると、なんと、白い着物のすそから先がいくつもにわかれ、うねうねと動く猫のしっぽがみえました。お豊の方が勝茂の部屋にはいると、うめき声と女の笑い声が聞こえ、障子に大きな猫の影がうつっていました。本右衛門は障子越しに槍で力いっぱい突き刺しました。真っ赤な血が障子に飛び散りました。そして障子をあけてみると爪と牙で槍をつかんだ大きな白い猫がたおれていました。その後、千布家では男子が育たなかったので、化け猫のたたりではないかということになり、菩提寺の秀林寺に「猫塚」を再建、「猫大明神」として奉りました。



5 蟹築籠

その昔、干拓したばかりの土地にカニが多く住みつき、稲をかみ切るのので、この土地を訪れた弘法大師がお経をあげて、退治してくれたという言い伝えがあります。この地は蟹築籠と呼ばれています。

6 海蔵寺

海蔵寺には、蛇退治用の赤土があります。その昔、マムシ(ヒラクチ)が住みつくことがあり、困った村民が弘法大師にお願いして、赤土をまいたところ、姿をみせなくなったという言い伝えがあります。今も、この赤土はマムシ(ヒラクチ)や毒虫よけなどに使われています。



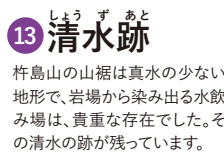
11 古今の森公園・龍王崎古墳群

龍王崎古墳群(県史跡)は、5世紀から6世紀にかけて築造された群集墳です。横穴式石室内部の様子がわかる展示室もあります(外から見ることができません)。



12 古渡跡

塩田川を渡り鹿島側に行くための船渡し場があったところです。干満の差が激しい河川です。



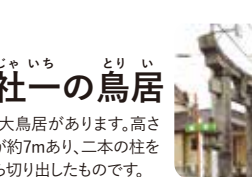
14 錦江のイボ地蔵

有明西小学校の南側に錦江のイボ地蔵があります。患部と同じところを触れると治ると信じられています。



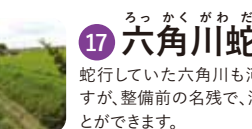
15 高町宿

高町宿に稲佐神社の大鳥居があります。高さが約6m、柱木の長さが約7mあり、二本の柱を結ぶ貫は一本の石から切り出したものです。



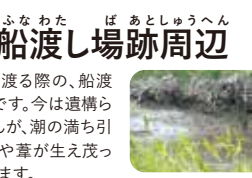
16 稲佐神社一の鳥居

高町宿に稲佐神社の大鳥居があります。高さが約6m、柱木の長さが約7mあり、二本の柱を結ぶ貫は一本の石から切り出したものです。



17 六角川蛇行堤防跡

蛇行していた六角川も河川整備されていますが、整備前の名残で、河川堤防跡をみることができます。



18 六角川船渡し場跡周辺

長崎街道、六角川を渡る際の、船渡し場があったところです。今は遺構らしきものはありませんが、潮の満ち引きによる川面の変化や葦が生え茂った様子に哀愁を感じます。



街中の歴史的な人物

////////// HISTORICAL FIGURES //////////

山口良忠判事

戦後まもないころ、判事の職にあった山口良忠は、自らの信念でヤミ米を拒絶し、栄養失調で亡くなりました。この事実は、当時、日本中に衝撃をもって伝えられ、大きな論争を巻き起こしました。その清く正しい生き方は、今も人々の間で大事に語り継がれています。八坂神社境内に山口判事を偲び、歌碑が建てられています。



「帰りぬき古里のを羅 かくばかり青かりしとは 志らざしか幸」

吉村新兵衛

吉村天満宮は、全国的に有名な嬉野茶の開祖である吉村新兵衛のゆかりの地です。嬉野の不動山で茶樹を栽培し、製法を考究しました。



鍋島勝茂

佐賀藩主鍋島勝茂は、タカ狩りに白石をよく訪れていました。タカ狩りとは、飼猫ならしたタカを使って、野鳥をとらえるものです。宿泊する屋敷を現在の佐賀農業高校内に造り、その屋敷は「秀屋形」と呼ばれていました。また、鷹屋神社内にタカ狩りに使うタカを飼う小屋がありました。現在も「鷹納手」という地名が残ります。



19 八坂神社

八坂神社では、400年の歴史がある「夏まつり(秀津祇園)」が7月13日に開催され、大変賑わいます。江戸時代初期、佐賀藩主鍋島勝茂が田植えの労をねぎらうため山笠(やま)を作らせ無礼講を許したのが始まりとされています。2月13日には玉替祭が開催されます。



20 六角宿

六角宿には、蔵造りの趣がある建物が残っています。六角小学校校庭に鍋島閑叟公が休憩した御茶屋跡があり、校歌に、「我学舎は、そのかみの、閑叟公のお茶屋跡…」と歌われています。多くのお店で賑わっていましたが、現在は魚屋さんや麺屋さんを残すのみとなっています。



杵島山

SHIROISHI
KISHIMAYAMA

あも
しろいし

SHIROISHI
CONTENTS GUIDE



パワー 風土の力を感じる旅。

白石町の西側、白岩山、犬山岳、勇猛山の山々が連なる杵島山一帯には、多くの歴史文化があり、知る人ぞ知る“パワースポットの宝庫”です。
中世の時代、佐賀及び北部九州を支配していた龍造寺隆信の拠点があったのがここ白石です。龍造寺隆信に係る歴史文化遺産も多く、中世のロマンに触れ、戦国武将のエネルギーを感じ取れる場所です。
自然石を敷き詰めた参道がある稲佐神社や海童神社の巨木など、さまざまな見どころがあります。興味のある場所を訪ねてください。



稲佐神社の石畳参道

杵島山パワースポット散策MAP



パワー スポット 心癒やされる眺め

歌垣公園、展望所「肥前犬山城」など、山頂からの白石平野の眺めは最高です。
季節に応じて変化する眺望をお楽しみください。

パワー スポット 出逢い



① 歌垣公園

ここ杵島山は奈良時代の『肥前国風土記』に記されています。日本三大歌垣(茨城県筑波山、大阪府歌垣山とともに)のひとつにも数えられています。歌垣とは、春と秋の年2回、若い男女が神々の住まう山に集まり、短歌等で互いの思いを伝えあう古代の行事のことです。恋がかなうかもしれない素敵な場所です。7万本が咲き乱れる春のつじは見事です。
『あれはふる杵島が岳をさかしみと草とりかねて妹が手をとる』(杵島山がとても陰しいので、山をよじ登るために草をつかんでいたら、手が滑って貴方の手を握ってしまった)『肥前国風土記』逸文より

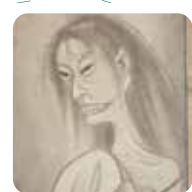
② 福泉禅寺(和泉式部生誕伝説の地)



平安時代の女流歌人、和泉式部の生誕伝説で有名です。寺内には、和泉式部の掛軸や供養塔があります。
恋愛の歌人に思いをよせ、恋のエネルギーを授けられる場所です。



パワー スポット 母子愛を感じる



② 福泉禅寺 〈幽霊の掛軸〉

福泉禅寺には、幽霊の掛軸(町重要文化財)があります。子を思う母の愛情を伝えています。
掛軸をご覧になる際は、事前にお寺にご相談ください。

パワー スポット 水



③ 水堂さん(安福寺)(霊水で無病息災)

平安時代末期、高倉天皇が重い病にかかった時、この霊水を平重盛が献上し、病が治ったと言伝えがります。毎年旧暦の4月15日から7月15日の90日間だけ湧き出す霊水です。この水を飲むと、無病息災に効き目があると言われてます。



④ 縫ノ池(復活した湧水)佐賀県遺産

縫ノ池は、40年間に渡り、水が湧き出ず、枯れていましたが、平成13年に復活しました。こんこんと湧き出る清らかな水を求め、町内外から多くの方が水を汲み(採水)に来られています。

パワー スポット 凜とした空気の中で癒やされる

⑤ 稲佐神社・自然石を敷き詰めた石畳



石造肥前鳥居・石畳

杵島山の仏教文化の中心が稲佐神社と稲佐十六坊跡です。自然石を敷き詰めた参道は、県内最長で趣があり、四の鳥居は県内の年代が分かる肥前鳥居の中では最も古く(天正13年[1585年])、佐賀県重要文化財(建造物)に指定されています。神仏習合時代から真言密教の道場として、人々の家内安全と無病息災を祈願してきました。

当時あった十六坊のうち、現在、座主坊、観音院、玉泉坊の3坊が残ります。



稲佐十六坊跡



大楠

境内には、樹齢約600年の大楠2本(いずれも県天然記念物)があります。巨木パワーを感じ取ってください。

パワー スポット 古代のエネルギーを感じる



⑥ 海童神社

この場所は、その昔、海に突き出た岬でした。海童神社は、古来より海上交通の安全を祈願して信仰されてきました。境内の大楠(県天然記念物)は、まるで天に登る龍のように枝を広げています。



⑦ 古今の森公園・ 龍王崎古墳群

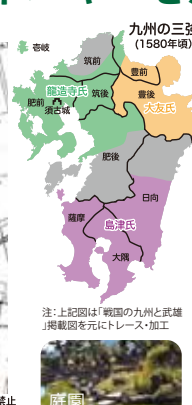
龍王崎古墳群(県史跡)は、5～6世紀に造られた古墳群で、約20基の円墳からなります。現在は、公園として整備されています。散策しながら古代のパワーを感じ取ってください。

パワー スポット 戦国武将のエネルギーを感じる



⑧ 須古城跡

須古城は、室町期は在地領主平井氏の居城でしたが、16世紀末、龍造寺隆信の居城となりました。戦国時代、豊後の大友氏、薩摩の島津氏とともに肥前の龍造寺氏が九州三大名として支配していました。当時、現在の佐賀・長崎両県、福岡県の大分、熊本県の北半と大分県の一部を網羅する大領国を築いていました。須古城はその首都でした。「分別も久しくすればねまる」は葉隠の中の隆信の言葉で、「名案も実行の機会を失うと意味のないものになる」という意味で、乱世の時代、判断力、行動力に長けた戦国武将でした。須古城跡に、今も石垣や庭園などが残っています。



⑨ 法泉寺

法泉寺は、南北朝時代に創建されたと考えられる古いお寺で、龍造寺氏に関する文化財が多くあります。戦国時代ファンは必見です。また、大仏殿の中に入ると、大きな大仏様が鎮座しています。



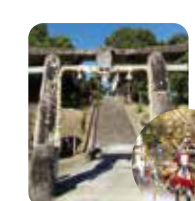
隆信像をご覧になる際は、事前にお寺にご相談ください。

パワー スポット ほっとくつろげる



⑩ 桜の里展望台

有明海、白石平野を望むことができます。桜の時期は、道沿いに咲く600本の桜がきれいです。



⑪ 妻山神社

妻山神社では、毎年10月19日に流鏝馬が開催されます。参道には二基の肥前鳥居(町重要文化財)を見ることができます。



ゆつら〜と! のんびら〜と!
道の駅しろいし



所在地: 佐賀県杵島郡白石町大字福富下分306番地4
(有明海沿岸道路福富 IC 前)

営業時間: (11~2月) 9:00~17:00
(3~10月) 9:00~18:00

休館日: 年末年始(12月31日~1月3日)、毎月第三水曜日
電話番号: 0952-87-2116

県内9番目の道の駅として2019年6月にオープン。

1階は「もんごもんご市場」。白石町内で生産された採れたての四季折々の農産物をはじめ、有明海で採れた新鮮な魚介類、白石産食材を使った加工品が多数取り揃う産物直売所。ささと食事を済ませたいときは、軽食・喫茶の「キッチンつーつらつー」がオススメ!

白石町の特産品を味わうのなら2階のレストラン「たんなかcafe360° サンロクマル」へ。白石町の季節のお野菜をふんだんに使った料理や見た目も美味しいデザートをお楽しみいただけます。

生産者も一年中豊富な品ぞろえができるように新しい挑戦や、商品開発を、がんばっています!!

アクセス情報



自動車利用

福岡方面から
武雄北方ICから約20分
九州佐賀国際空港から
国道444号経由で約50分
長崎方面から
嬉野ICから約25分

JR利用

肥前白石駅または肥前竜王駅下車
特急は江北駅、肥前鹿島駅に停車

航空機アクセス

羽田空港
東京

約1時間50分

九州佐賀
国際空港
佐賀市

ドライブアクセス

九州佐賀国際空港から白石町までレンタカーで約35分

鉄道アクセス

東京

約5時間30分

名古屋

約3時間45分

新大阪

約2時間50分

博多

約37分

新鳥栖駅

約31分

佐賀駅

約18分

肥前白石駅

鉄道の場合は、博多駅から佐世保・ハウステンボス方面の特急や、九州新幹線で新鳥栖駅からの移動になります。

※各所要時間は、おおよその目安です

令和6年10月発行

白石町役場商工観光課

〒849-1192 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1

[TEL] 0952-84-7123 [FAX] 0952-84-6611 (代表)

[URL] <https://www.town.shiroishi.lg.jp/>

